



句集 **海馬** 細川洋子 著
かいば

自分はいったい何者なのか——。脳梗塞により一年も記憶を失うという
稀有な体験をした、医師で俳人の細川洋子による20年ぶりの新句集。



天の川ひとに海馬といふところ

肉体と宇宙が重なるような詩的な驚きは、この世は人間が中心
ではないことを熟知した科学のまなざし、身体を診る医学の
まなざし、そこに俳句を愛する文学のまなざしが融合した、
独自の作家性として捉えることができる。——

相子智恵

(俳誌「澤」同人)

—収録作品より—

断崖絶壁吾は春光のひとかけら
すつぽりと記憶の抜けし臍かな
万緑や閑かに戻つてゐる記憶
にんげんに喫水線や籐寝椅子
牡丹の迷宮咲きと思ひけり
目を閉ぢてゐても明るき花疲
謝つてしまへば葱の甘かりし
針穴は光の出口針供養
部屋の奥行長くなる湯冷めかな
あをぞらの一枚仕立て梅の花

【帯文=能村研三／葉=相子智恵】
四六判 上製 208ページ
定価2860円(本体2600円+税10%)

著者*細川洋子(ほそかわ ようこ)
昭和31年、青森生まれ
昭和63年、「沖」入会、能村登四郎に師事
平成10年、「沖」同人
平成17年、第一句集『半球体』刊行
俳人協会会員／千葉県俳句作家協会会員

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 宮尾)

番線印	注文数	句集 海馬 細川洋子 著 冊
	注文日	
ご担当: _____ 様		